

令和7年度法人本部事業報告

1 法人事業活動の全体概要

- (1) 令和7年度の法人事業活動の全体概要は「**月別法人本部行事報告**」及び「**法人事業活動実績記録表**」のとおりである。
- (2) 定款第18条第3項の規定により、会長及び常務理事は職務の執行状況を理事会に報告しなければならないとされているため、「**会長への業務報告**」及び「**企画調整会議**」における報告・検討・協議の内容を理事会開催の都度報告した。
- (3) 「会長への業務報告」の具体的内容は、「**会長への業務報告実績表**」のとおりである。

2 評議員会及び理事会

評議員会は2回、理事会は5回開催した。

3 監事による決算監査の実施

令和8年5月8日、令和7年度の法人・施設事業報告及び一般会計決算について受検した。

4 定期監査の実施

四半期ごとに定期監査を受検し、法人・施設の一般会計決算は、適正に運営・処理されている旨の認定を受けた。

5 財務会計に係る指導委託の実施

財務会計処理の適正化を図るため、四半期ごとに会計処理業者(税理士法人■■■■■■■■■■)による法人本部、■■■、青山保育園、くろいしの保育園及びみたけ保育園の会計指導を受けた。

6 変更登記

令和7年6月7日、盛岡地方法務局に令和7年3月31日現在の資産総額の変更登記を行った。

7 法人自主事業研究会

(1) 企画調整部会

- ア 保育園の認定こども園移行の可否を検討し、当会の保育所3園を令和10年4月1日までに幼保連携型認定こども園に移行させる方針をまとめ、職員に周知するとともに理事会・評議員会に報告した。
- イ 将来的に当会所属の保育士等を保育園長に登用することを目指し、副園長職の新設などの取組を進めた。

(2) 保育園運営部会

次の4テーマについて、協議・検討を行った。

- ① 令和7年度施設間交流研修について
- ② 令和7年度地域活動事業について

- ③ 各種様式の統一化について
- ④ 「全体的な計画」について

(3) 保健部会

- ア 長期的課題の「子どもへの保健指導(教育)のあり方の検討」については、職員への意識啓発を図るために、「人権としての「性」について」をテーマとした研修会を各施設で実施し、計 78 人の職員が参加した。
- イ 短期的課題の「職員の心の健康に関する実態調査」については、労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリストを全職員に配付し、103 人分の調査結果について集計した。

(4) 栄養部会

次の3テーマについて、協議・検討を行った。

- ① 「保育園食育計画」数値目標について
- ② 「朝食・生活リズムに関するアンケート」について
- ③ 統一献立の日及びメニューについて

8 地域活動事業（施設合同の社会貢献活動）

経済的に困難な状況にある子育て家庭や子どもが、栄養のある食事や必要な日用品などを確保できるよう、法人各施設が食料品や日用品を回収し、無償で配布する活動に取り組むことにより、子どもの未来を応援した。

「コミュニティ・フリッジ」(公共冷蔵庫＝食料品の支援が必要な方へ直接、支援を届けられる仕組み)を展開しているNPO法人 Future Seeds(:フューチャーシーズ)の協力を得て実施した。

(1) チャリティーバザーへの協力(10 月実施)

子供服、玩具、絵本、育児用品等 1,170 点以上(寄付者:延 52 人)

(2) フードギフトBOXの設置(11・2月実施)

米、レトルト食品、缶詰、菓子、乾麺等 130 点以上(寄付者:延 19 人)

令和7年度 月別法人本部行事報告

月別	理事会・評議員会等	財務関係等	会長への業務報告等
4月	法人創立記念行事	税理士法人監査 会長決裁	事務局会議 企画調整会議 会長への業務報告
5月	三役会議 理事会（会長等職務の執行状況）	決算会議 決算監査（定期監査） 文書保存・整理（本部、全施設）	事務局会議 議案等検討会議 企画調整会議
6月	定時評議員会 理事会（会長、副会長、常務理事の選定）	資産総額変更登記 現況報告 保存文書廃棄	事務局会議 企画調整会議
7月		財務諸表等開示 税理士法人監査 会長決裁 定期監査	事務局会議 企画調整会議 会長への業務報告
8月			事務局会議 企画調整会議
9月	三役会議 理事会（会長等職務の執行状況）	予算編成会議	事務局会議 議案等検討会議 企画調整会議 苦情解決事業報告会
10月		税理士法人監査 会長決裁 定期監査	事務局会議 企画調整会議 会長への業務報告
11月			事務局会議 企画調整会議
12月	三役会議・役員情報交換会 理事会（会長等職務の執行状況）	予算編成会議 会長決済	事務局会議 議案等検討会議 企画調整会議
1月		税理士法人監査 会長決裁 定期監査	事務局会議 企画調整会議 会長への業務報告
2月			事務局会議 企画調整会議
3月	三役会議 理事会（会長等職務の執行状況） 評議員会	予算編成会議	事務局会議 議案等検討会議 企画調整会議

令和7年度 法人事業活動実績記録表

[illegible]

令和7年度 会長への業務報告実績表

回	月日	報告事項	協議事項
1	4/28	・ 保育園の入所児童の状況等 ・ 疲労蓄積度チェックの結果 ・ 母子生活支援施設「盛岡市立かつら荘」移転新築予定	・ 令和7年度第1回理事会 ・ 令和7年度定時評議員会 ・ 令和7年度第2回理事会・
2	7/25	・ 登記等手続き等の状況 ・ 令和7年度指導監査日程 ・ 岩手県・盛岡市社会福祉大会表彰対象者の推薦 ・ 認定こども園への移行に関する検討状況 ・ 令和7年度法人施設間交流研修 ・ 保育園の入所児童の状況等	・ ■■■■からの■■■■■■■■■■撤退への対応 ・ 令和7年度の「地域活動事業」 ・ 「苦情解決事業報告会」の開催 ・ 令和8年度の施設長体制
3	10/24	・ 令和7年度保育所指導監査等の結果 ・ 岩手県・盛岡市社会福祉大会表彰対象者の決定 ・ 認定こども園への移行に関する検討結果 ・ 青山保育園の利用定員の変更 ・ 青山保育園事務職員の採用 ・ 保育園の入所児童の状況等	・ 令和7年度職員給与の取扱い ・ 令和7年度保育園処遇改善手当の支給 ・ 令和8年度の施設長体制
4	1/22	・ 令和7年度措置費、公定価格の改定 ・ 令和7年度「地域活動事業」の実施状況 ・ 「朝食・生活リズムに関するアンケート」の調査結果 ・ 保育園の入所児童の状況等	・ 経理規程の一部改正 ・ 認定こども園への移行に向けた取組 ・ 正職員保育士任用試験実施結果 ・ 令和8年度の体制 ・ 令和8年度事業計画及び当初予算の編成方針

令和 7 年度青山保育園事業報告

園の運営管理規程及び全体的な保育計画に基づき、次の事業を実施した。

1 一般保育事業の状況

(1) 保育開設日数及び保育時間

保育開設日数は 292 日（休園は日曜祝日及び年末年始 6 日間）。

保育時間は午前 7 時から午後 6 時まで。

(2) 入園児の状況

ア 定員が 160 名のところ、年度当初は 9 クラス 139 名でスタートした。

イ 年間総数は、1,731 名（充足率 90.2%）で前年度比 74 名の減となった。

ウ 発達支援保育事業の対象児童は 4 名であった。（前年度 3 名）

2 特別保育事業等の状況

(1) 延長保育事業

ア 延長保育は、午後 6 時から 7 時までの 1 時間延長を実施した。

イ 年間利用人数は 378 名（月平均約 32 名）となり、前年度比 27 名の減となった。

(2) 地域活動事業

ア 専門学校生の保育ボランティア、高校生の保育体験学習、中学生の職場体験学習を次のとおり受け入れ、園児との交流を図った。

北日本医療福祉専門学校 2名	盛岡市立高校 1名	盛岡大学附属高校 5名
盛岡市立厨川中学校 6名	盛岡市立北陵中学校 5名	

イ 園庭でのプール活動前の 4・5 歳児の体験学習を目的として、地域の社会資源である屋内プール施設と連携したプール教室を行った。

ウ 県が実施するいわて子育て応援「i ファミリー・サービス事業」の子育て応援の店としての指定を受けた。

エ 園開放は事前予約制としたが、今年度の利用はなかった。（前年度は 13 名の利用）

(3) 一時預かり事業

年間利用児童数は 25 名で、前年度比 18 名の減となった。

(4) その他の取組

ア 各クラスで年 1 回保護者懇談会を実施したほか、0 歳児クラスで保護者の保育参加を行った。

イ 発達上の課題が見られる児童 6 名の支援のあり方について、児童発達支援に知見を有する指導員から年 3 回コンサルテーションを受けた。

ウ 関係自治体のこども家庭センターからの依頼を受け、要保護児童対策地域協議会の管理対象児童 7 名について、定期的な情報提供及び保護者への相談対応等の支援を行った。

エ 5 歳児の就学先となる小学校 14 校の幼・保・小連絡会議に保育士が参加し、情報交換等を行った。

3 施設整備の状況

次により、安心・安全な保育環境の整備を図った。

ア 専門業者に委託して、屋外遊具の安全点検を行った。

イ 5 歳児用トイレの排水の詰まりを修繕した。

ウ 厨房の回転釜の軸受部の交換を行った。

- エ 正面玄関の鍵穴の修理を行った。
- オ 事務室の暖房機の修理を行った。
- カ 防災対策として、石油ストーブ及び備蓄食糧を購入した。

4 安全対策及び事故防止

(1) 日常の安全管理

- ア 保育環境の安全管理のため、「環境整備・遊具点検チェック表」により施設、遊具、玩具、用具、園庭を毎月点検し、安全性の確保や機能の保持に取り組んだ。
- イ 乳幼児突然死症候群予防のため午睡チェック表、午睡チェックセンサーによる点検を毎日実施した。

(2) 危機管理

- ア 園の消防計画に基づく避難訓練を12回(毎月1回。うち2回は消防総合訓練)実施した。また、園のBCP(業務継続計画)に基づき、園外への避難場所(青山児童センター)への避難訓練も行った。
- イ 園の安全計画に基づく不審者対応の訓練を盛岡西警察署の協力を得て実施した。
- ウ 非常用自家発電機の操作訓練を毎月実施した。

(3) 事故防止

- ア 保育中の事故で医療機関受診に至ったものは6件発生した。
事故の内容:口唇の打撲、歯の打撲、指の打撲、口唇の切傷、舌の切傷、肘内障
- イ 事故防止については、保健研修会(毎月1回実施)においてヒヤリハット事例(15件)や事故報告書(49件)をもとに検証し、再発防止に努めた。また、夏場のプール活動においては、監視に専念する職員を常時配置した。

5 感染症等対策の状況

(1) 感染性胃腸炎等感染症について

- 以下の感染症が見られたが、重症者はなかった。
- ア 4月、感染性胃腸に園児27名が罹患し、うち1名が入院。保健所に報告。
 - イ 8月、腸管出血性大腸菌O26が園児1名から検出され、保健所に報告。保健所の指示により園児11名、職員13名について検査し、全員陰性。
 - ウ 9月、新型コロナウイルス感染症に園児10名、職員2名が罹患し、保健所に報告。
 - エ 11月、インフルエンザA型に園児22名が罹患し、保健所に報告。
 - オ 12月、インフルエンザA型に園児15名、職員1名が罹患し、保健所に報告。
 - カ 2月、感染性胃腸に園児10名、職員2名が罹患し、保健所に報告。
- 上記以外にも、原因不明の発熱、咳、発疹の症状や、伝染性紅斑(りんご病)などが見られた。

(2) 啓発等の対応について

随時「はげんだより」を発行して、保護者に感染症対策の啓発に努めるとともに、園内の玩具や保育室、砂場等を消毒した。行事については、園のBCP(業務継続計画)に基づき、参加人数、場所などを検討・制限して実施した。

6 給食事業の状況

給食は「食育」(食を営む力の育成)の一環として重要なものと位置付けており、保護者に献立表を配付するとともに、喫食状況や体調の変化なども随時報告して、保育室と厨房における情報共有に努めた。

また、給食衛生管理マニュアルに沿って厨房の衛生管理を徹底するとともに、衛生環境改善のため電解水を活用するなど、食中毒の防止に取り組んだ。

(1) 手作りの和食

給食は安心・安全な食材を確保し、和食を中心とした季節の材料を取り入れ、煮干しやかťお節でダシを取って薄味にし、冷凍食品や加工食品を極力使用せずに手作りに努めた。

(2) 給食種別

離乳食が1,625食(前年比896食減)、1・2歳児食が10,417食(前年比527食減)、3歳児以上食が19,653食(前年比374食減)、卵や乳製品などを含まない除去食は36食(前年比274食減)で、計31,731食(前年比2,071食減)を提供した。

(3) おやつ給食

午前は乳児に、午後は全児童におやつを給し、極力手作りに努めた。

(4) 副食代の徴収

3歳以上児の副食代(月5,200円)の令和7年度の徴収率は100%であった。

7 職員の資質向上

(1) 研修

職員の専門性の向上のため、各種研修会へ参加するよう努めた。

保育の質の向上を図るため各種園内研修も実施し、職員間の連携強化や共通理解を深め、協働性を高めることに努めた。

ア 園内研修を34回(保健研修8回、全体研修8種類26回(子どもの権利擁護研修6回、保育の中心としての人権研修1回、保育を語る会1回、ハラスメント防止研修9回、年度末振り返り研修1回、法人内施設間交流研修2回、法人保健部会研修6回)実施した。

イ 園外研修に延べ13名(WEBも含む。)参加した。

(2) 自己評価

保育士自己評価及びクラス別自己評価を行い、それに基づき自己評価委員会において保育園自己評価を実施し、令和8年度の保育指導計画等に反映させた。また、「不適切な保育からの脱却チェックリスト」を用いてセルフチェックした結果を職員にフィードバックした。

8 苦情解決処理

令和7年度中に要望・苦情は5件(保育士の対応・態度、駐車場の利用の仕方)寄せられたが、苦情申立者からの「福祉サービスに係る苦情解決事業実施要綱」に基づく苦情解決の手続きの希望はなかった。要望・苦情には丁寧に対応し、改善に努めるとともに、法人のホームページで公表した。

9 青山保育園行事報告

各行事は、各種感染症の感染防止対策を行ったうえで、参加人数の制限・時間短縮などの対応をとり実施した。

月別	園 業 務 関 係
定例	職員会議（毎月前期・後期で実施）、給食会議、環境安全点検、年齢別会議、クラス打合せ、園内職員研修、保健研修、給食従事者及び0歳児保育者の検便、給食従事者会議、避難訓練、誕生会、お弁当の日（3歳児以上・年2回）、身長体重測定、園・クラスだより発行、発達支援児巡回指導（年3回）、園開放、献立表発行
随時	保健だより（6回）、体験保育受入れ（19名）、個別面談、幼・保・小連絡会、野菜の栽培・収穫体験、クッキング
4月	入園・進級式（1）、父母の会総会（4）、サッカー教室（18）、親子徒歩遠足（3～5歳児）（24）
5月	こいのぼり誕生会（2）、不審者対応訓練（9）、消防総合訓練（13）、サッカー教室（14.23.29）、内科健診（15）、歯科健診（22）、5歳児保育参観（28）
6月	サッカー教室（3.10.19.20.23.30）、親子お楽しみ会（6）、耳鼻科健診（11）、屋内プール教室（5歳児）（13）、4歳児保育参観（18）、眼科健診（18.28）、体操教室（3歳児）（19）、2歳児保育参観（24.25）、3歳児保育参観（26）、交通安全教室（4・5歳児）（27）
7月	1歳児保育参観（2）、人権教室（4・5歳児）（2）、屋内プール教室（4歳児）（11）、お話し会（4・5歳児）（25）
8月	鉛筆持ち方教室（5歳児）（21）
9月	シェイクアウト（1）
10月	運動会（3）、アンサンブルコンサート（15）、消防総合訓練（20）、親子レク（5歳児）（21）、お話し会（3歳児）（23）、お話し会（4・5歳児）（24）徒歩遠足（4・5歳児）（31）
11月	父母会親子レク（3）、収穫祭（4）、内科健診（20）
12月	発表会（12）、クリスマス会（24）
1月	
2月	豆まき会（3）、卒園・進級写真撮影（9）、レストランごっこ（3～5歳児）（10）、体操教室（3歳児）（25）、体操教室（2歳児）（26）
3月	お茶会（5歳児）（2）、ひなまつり会（3）、お別れ会（6）、進級懇談会（2歳児）（9）、卒園式（14）、新入園児説明会（18.27）、お話し会（3歳児）（19）、人形劇鑑賞会（24）、職員お別れ会（30）

10 令和7年度入所児童数統計

(1) 入所児童数の状況

(单位:名)

月 年 齡	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6 年度
0歳児	5	5	6	6	10	12	13	13	15	16	17	18	136	172
1歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300	226
2歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	21	21	21	243	348
3歳児	30	30	30	30	30	29	29	29	29	29	29	29	353	356
4歳児	30	30	30	29	29	29	29	29	29	29	29	29	351	344
5歳児	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348	359
計	139	139	140	139	143	144	145	145	147	149	150	151	1,731	1,805

滝沢市 168名

花卷市 3名

(2) 延長保育事業児童数の状況

(单位:名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6 年度
1時間	27	28	27	33	25	38	37	35	27	34	32	35	378	405

(3) 一時預かり事業利用児童数の状況

(单位:名·件)

月 ＼	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6 年度
受入日数	2日	0日	5日	13日	1日	1日	0日	0日	0日	1日	1日	1日	25日	42日
0歳児						1						1	2	6
1・2歳児	2		2		1					1	1		7	37
3歳以上			3	13									16	0
計	2	0	5	13	1	1	0	0	0	1	1	1	25	43

(4) 園開放の状況

(单位:名)

[illegible]

(5) 給食費(副食代)徴収児童数の状況

(单位:名·%)

[illegible]

(6) 年齢別委託費の状況

(単位：円)

	標準	短時間
0 歳 児	242,100	237,820
1 歳 児	163,160	158,880
2 歳 児	143,510	139,230
3 歳 児	75,560	71,460
4歳児以上	55,920	51,850

※令和8年2月1日現在

(7) 職員数の状況

(単位：名)

職 種	人数	職 種	人数
園長	1	臨時保育士	7
主任保育士	1	臨時調理員	4
副主任保育士	1	臨時事務員	1
保育士	9	時間給保育士	15
看護師	1	時間給調理員	1
栄養士	1	時間給園務員	1
事務員	1	保育補助員	1
小計	15	小計	30
		合計	45

※令和8年3月31日現在

(8) 健康診断実施状況

(単位：名)

区分	実施年月日	担当医	受診者数
内 科	5月15日	齋藤明宏	138
	11月20日		138
歯 科	5月22日	吉田大徹	137
眼 科	6月18日	三善 恵	135
	6月25日		
耳 鼻 科	6月11日	遠藤芳彦	138

令和7年度くろいしの保育園事業報告

園の運営管理規程及び全体的な保育計画に基づき、次の事業を実施した。

1 一般保育事業の状況

(1) 保育開設日数及び保育時間

保育開設日数は292日（休園は日曜祝祭日及び年末年始6日）。

保育時間は午前7時から午後6時まで。

(2) 入園児の状況

ア 年度当初は定員110名に対し92名でスタートした。

イ 年間総数は、1,187名（充足率89.9%）で前年比67名の減となった。

ウ 発達支援保育児童はいなかった。

2 特別保育事業等の状況

(1) 延長保育事業

ア 延長保育は、午後6時から8時までの2時間延長を実施した。

イ 年間利用人数は1時間が222名（月平均約19名）、2時間が5名（月平均0名）となって、前年比57名の減少となった。

(2) 地域活動事業

ア 6月に緑が丘小学校生(2年生)19名、7月に黒石野中学校(3年生)145名の触れ合い体験、高校生体験保育5名（盛岡北高4、盛岡誠桜1）を受け入れ、園児との交流を図った。

イ 勤労感謝で地域の職場2か所を訪問し交流した。

ウ 乳幼児と保護者を対象とした園開放を実施し、延べ19名の親子の参加があった。

エ 県が実施するいわて子育て応援「iファミリー・サービス事業」の子育て応援の店及び福祉避難所の継続指定を受けた。

(3) 体調不良児対応型病児保育事業の実施

ア 年間利用児童は137名（月平均約11名）となっており、感染症拡大防止につながった。

イ 保健相談は、6件（月平均約0.5件）で育児不安の解消につながった。

(4) その他の取組

ア 随時保護者からの希望に応じて懇談・支援を行うほか、各クラスで時期を決めてほぼすべての保護者との個別面談により心配ごとなどを聞いた。3歳児以上はクラス懇談会も開催した。

イ 発達面で課題が見られる児童7名に関し、児童発達支援について知見を有する指導員から年4回巡回指導を受けた。

ウ 保育実習生2名（名寄市立大学、盛岡大学）を受入れて指導し、保育士の育成を支援した。

エ 5歳児の就学先となる小学校の幼・保・小連絡会等に担当保育士が参加し、小学校への円滑な接続につなげた。

3 施設整備の状況

(1) 遊戯室空調設備工事

夏季の熱中症対策に配慮した安全な保育環境を確保するため、保育所施設・設備整備積立資産を取崩し、遊戯室空調設備工事を実施した。（工事費用3,410,000円）

(2) その他の整備

- ア 災害時用発電機に不具合が生じたので、修理を施した。
- イ 遊戯室後方(キャットウォーク下)に照明が届かず暗い状況を改善するため、照明器具を設置した。
- ウ 厨房換気フードのフィルター(3箇所)に経年劣化による歪み等が生じたため、交換した。
- エ 盛岡市シルバー人材センターに委託し、保育園敷地内の植木の剪定・手入れを行った。
- オ 園内の安全かつ良好な状態を保つため、廊下・遊戯室その他の床に洗淨ワックス塗布作業を施した。

4 安全対策及び事故防止

(1) 日常の安全管理

- ア 大型遊具の専門業者による安全点検及び砂場の衛生検査を実施した。
- イ 非常時用発電機の定期的始動訓練を実施した。
- ウ 保育環境の安全管理のため、「環境整備・遊具点検チェック表」により施設、遊具、玩具、用具、園庭を毎月点検し、安全性の確保や機能の保持に取り組んだ。
- エ 乳幼児突然死症候群予防のための午睡チェックセンサー(ベビーセンス 1 台)点検を毎日実施した。

(2) 危機管理

- ア 園の消防計画に基づき、盛岡市指定避難所及び非常時避難場所協定締結事業所2か所への避難訓練も含めた毎月の避難訓練実施及び消防署立会いの総合防災訓練を2回実施した。
- イ 消防署員の派遣を依頼して「救命救急研修」を開催し、AED・心肺蘇生法を含む救急対応について学んだ。
- ウ SECOM の協力による不審者対応訓練及び安全に関する研修を実施した。

(3) 事故防止

- ア 保育中の事故で医療機関受診に至ったものは1件(保護者と登園時に転倒し、鼻出血多量)であった。
- イ 受診を伴わない保育中の事故報告は56件であった。
- ウ 事故防止対策については、職員会議及び保健委員会において、ヒヤリハット事例(8件)や事故報告書をもとに検証し、再発防止を図った。

5 感染症等対策の状況

(1) 感染性胃腸炎等について

令和7年 12 月1日以降、感染性胃腸炎で欠席する園児が多数見られ(12 月11日までに 34 名)、保健所に報告し指導を受けた。そのうち9名の園児からサポウィルスが確認された。

(2) インフルエンザ及び新型コロナウイルスについて

インフルエンザは年間で園児13名、職員0名の発症があった。新型コロナウイルス感染症は年間で園児13名、職員4名の発症があった。いずれのり患でも、重症者はいなかった。

(3) 啓発等の対応について

随時「保健だより」を発行して保護者に感染症対策の啓発に努めるとともに、園内の玩具や保育室、砂場等を消毒した。行事については参加人数、場所などを検討・制限して実施した。

6 給食事業の状況

給食は「食育」(食を営む力の育成)の一環であり、重要な位置付けとなっていることから、保護者に献

立や園児に人気のあるメニューのレシピを配布するとともに、喫食状況や体調の変化なども随時報告した。

また、給食衛生管理マニュアルに沿って厨房の衛生管理を徹底するとともに、電解水を活用するなど食中毒の防止に取組んだ。

(1) 手作りの和食

給食は、安心・安全な食材を確保し、和食を中心とした季節の材料を取り入れ、煮干しやかťお節でダシを取り、薄味にして冷凍食品や加工食品をできるだけ使わず手作りを心がけた。

(2) 給食種別

離乳食が1,827食(前年比95食減)、1・2歳児食が6,940食(前年比692食減)、3歳児以上食が11,319食(前年比1,008食減)、うち卵や乳などを除く除去食は163食(前年比167食減)で、合計20,086食(前年比1,795食減)を提供した。

(3) おやつ給食

おやつは午前には乳児に、午後は全児童に給し、できるだけ手作りを心がけた。

(4) 副食代の徴収

3歳以上児の副食代(月5,500円)の令和7年度の徴収率は100%であった。

7 職員の資質向上

保護者及び園児から信頼を得られるよう、職員が協同して一体感のある職員体制の確立及び業務の質の向上に努めた。

(1) 研修

保育所の役割や機能が多様化して拡大している中で、一人ひとりの職員の専門性の向上のため、各種研修に参加しスキルアップを図った。

また、保育所全体の保育の質の向上を図るため、職員間の連携強化や共通理解を深め、協働性を高めるための各種カンファレンスを実施した。

ア 園内研修：14回実施(リズム運動(基本・応用)、パソコンの使い方、個人情報保護について、行事の振り返り、嘔吐処理、年度末反省など)

イ 園外研修：31回(WEBも含む。)参加(参加人員延べ36名)

ウ 法人施設間交流研修：青山保育園・みたけ保育園に保育士各2名が参加

(2) 自己評価

保育士自己評価及びクラス別自己評価を行い、それに基づき自己評価委員会において保育園自己評価を行い、令和8年度の保育指導計画等に反映させた。また、「年度末反省」シートにより各自が1年間の保育全般を振り返り、次年度に目指す保育を確認した。

8 苦情解決処理

令和7年度における苦情等は7件(園児の靴が別の場所に動かされていた:1件、仕事が休みの日の保育について説明の仕方:2件、運動会のDVDの出来が悪い:4件)寄せられたが、「福祉サービスに係る苦情解決事業実施要綱」に基づく苦情解決(第三者委員の立会い等)の希望はなかった。

9 くろいしの保育園行事報告

月別	園業務関係
----	-------

定例	職員会議（毎月前期・後期で実施）、給食委員会、環境安全点検、年齢別会議、クラス打合せ、園内外研修、保健研修、給食従事者及び0歳児保育者の検便、避難訓練、誕生会、園開放、身長体重測定、園・クラスだより・献立表及び給食だより発行、発達支援児巡回指導（年4回）、保育参観（各クラス年1回）
随時	クッキング（14回）、保健だより、保育実習の受入れ（2名）、中学生の保育体験（149名）、園芸体験及び収穫体験、3歳以上児の異年齢児交流保育（5回）、クラス懇談会、個別面談、親子ふれあい教室（各クラス1回）
4月	入園・進級式（1）、内科健診（25）
5月	耳鼻科健診（5）、親子遠足（3～5歳児（15）、消防総合訓練（22）、眼科健診（29）
6月	サッカー教室（6）、歯科健診（12）、園外保育（弁当の日）（13）
7月	交通安全教室（3）、職員健康診断（10）、ごみとリサイクルの啓発教室（18）
8月	夏祭り会（8）
9月	サッカー教室（4）、シェイクアウト訓練（12）、内科健診（17）、
10月	運動会（4）、サッカー教室（10）、交通安全教室（14）、園外保育（弁当の日）（22）
11月	いのちのおはなし会（5）、焼き芋会（7）、消防総合訓練（12）、誕生会・読み聞かせ演奏会（19）、 勤労感謝訪問（21）、
12月	発表会（4）、クリスマス誕生会（24）、
1月	もちつき会（6）、不審者対応訓練（20）
2月	豆まき会（3）、お店屋さんごっこ（21・22・27）、お茶会（25）
3月	ひなまつり誕生会（3）、卒園式（14）、入園説明会（16）、お別れ会（19）

10 令和7年度入所児童数統計

(1) 入所児童数の状況

(單位:名)

月 年 齢	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6 年度
0歳児	18	6	6	8	9	11	13	13	16	16	18	18	18	152	140
1歳児	18	15	15	16	16	16	16	16	16	16	16	17	16	191	216
2歳児	18	17	17	17	17	18	18	17	18	18	18	18	18	211	216
3歳児	18	18	18	17	17	17	17	17	16	16	16	17	15	201	226
4歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	216
5歳児	20	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	240
計	110	92	92	94	95	98	100	99	102	102	104	106	103	1,187	1,254

※盛岡市以外(滝沢市)からの委託児童延べ6名を含む。

(2) 延長保育事業児童数の状況

(單位:名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6 年度
1時間	16	16	17	17	17	19	18	18	21	26	21	16	222	267
2時間	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	17
計	17	18	18	17	17	19	19	18	21	26	21	16	227	284

(3) 園開放の状況

(单位:名)

月 年齢等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6 年度
実施回数	1	2	2	2	1	1	2	1	1	1	1	1	16	15回
0歳児	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4	8
1・2歳児	1	1	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	6	2
計	2	1	1	1	0	0	2	2	0	0	1	0	10	10

※新型コロナウイルス感染予防のため、1日1組・事前申込制で実施した。

(4) 体調不良児対応型病児保育事業利用児童数等の状況

(单位:名·件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6 年度
児童数	20	11	21	19	9	15	4	8	6	6	8	10	137	87
相談件数	0	0	1	1	1	0	2	0	1	0	0	0	6	16

(5) 給食費徴収児童数の状況

(单位:名·%)

[illegible]

(6) 年齢別委託費の状況 (単位 : 円)

	標準	短時間
0 歳 児	238,490	242,450
1 歳 児	169,460	163,420
2 歳 児	149,810	143,770
3 歳 児	82,140	76,060
4 歳 児 以 上	62,470	56,430

※令和8年2月1日現在

(7) 職員数の状況 (単位 : 名)

（一）職員数状況			（単位：名）		
職 種	人数	職種	人数	職種	人数
園長	1	臨時保育士	7	時間給保育士	13
主任保育士	1	臨時看護師	1	時間給調理員	2
副主任保育士	1	臨時調理師	2	時間給園務員	1
保育士	5	小計	10	小計	16
看護師	1				
栄養士	1			合計	37
事務員	1			※令和 8 年 3 月 31 日現在	
小計	11				

※令和 8 年 3 月31日現在

(8) 健康診断実施状況 (単位 : 名)

区分	実施年月日	担当医	受診者数
内 科	4月25日	佐々木美香	91
	9月19日		99
歯 科	6月12日	宮田右京	94
眼 科	5月29日	小笠原孝祐	92
耳 鼻 科	6月5日	齋藤大輔	94

令和7年度みたけ保育園事業報告

園の運営管理規程及び全体的な保育計画に基づき、次の事業を実施した。

1 一般保育事業の状況

(1) 保育開設日数及び保育時間

保育開設日数は292日(休園は日曜・祝日及び年末年始6日)

保育時間は午前7時から午後6時まで

(2) 入園児の状況

ア 年度当初は定員130名に対し、119名でスタートした。

イ 年間延べ1,504名(充足率96.4%)の利用であったが、前年度より6名の減となった。

ウ 発達支援保育事業の対象児童は2名であった。

2 特別保育事業等の状況

(1) 延長保育事業

ア 延長保育は、午後6時から8時までの2時間延長を実施した。

イ 年間利用人数は、1時間利用が195名(月平均16名)、2時間利用が49名(月平均4名)の合計244名であった。前年度に比較して111名の減となった。

(2) 地域活動事業

ア ひまわり学園との交流事業を園内で実施した。(ひまわり学園への訪問は、感染症の流行に伴い中止となった。)

イ 高校生の保育体験学習を次のとおり受け入れ、園児との交流を図った。

【高校別受入人数】

県立盛岡農業高校	3名	盛岡誠桜高校	1名
盛岡市立高校	2名	盛岡スコーレ高校	1名
県立盛岡北高校	1名	盛岡中央高校(単位制)	1名
県立盛岡商業高校	1名		

また、盛岡市立厨川中学校3年生(100名程度)の職場体験を受け入れた。

エ 県が実施するいわて子育て応援「iファミリー・サービス事業」の子育て応援の店及び「福祉避難所」の指定は継続して受けた。

オ 地域の方々の協力をいただき、畑づくりや野菜の栽培を通じて園児との交流等を図った。

(3) 体調不良児対応型病児保育事業の実施

ア 年間利用児童は218名(月平均18.2名)で、前年度と比較して63名(月平均5.3名)増加した。

イ 保健相談は、25件(月平均2.1件)で、前年度と比較して5件増加した。

(4) その他の取組

ア 各クラスで保護者との個別懇談会を実施し、子どもの情報の共有、相互理解に努めた。

イ 家庭内における養育上の課題や問題を有するケースについて、関係機関と連携して必要な保護者支援を行うとともに、定期的な情報提供に努めた。

ウ 発達上の課題が見られる児童について、障害に関する専門的知見を有する者からの巡回指導を年4回受けるとともに、カンファレンスを行った。

エ 5歳児の就学先となる小学校10校の幼・保・小連絡会議に保育士が参加し、情報交換等を行うことにより小学校への円滑な接続に努めた。

オ 園児を対象に県立大学生によるダブルダッチ体験会を行ったほか、父母会と共催で子育て講演会を開催した。

カ 幼児期から外国語に触れる機会を確保し、外国語の音声や表現に慣れ親しみ、コミュニケーション能力の基礎を育むため、令和7年9月から月1回、4～5歳児を対象に英語教室を開催した。

3 施設整備の状況

(1) 施設設備関係

エアコン室外機、職員用トイレ及び園舎雨樋の修繕工事のほか、園庭大型遊具のネットを交換した。

(2) 防災用品関係

乳児用避難車1台を購入した。

(3) ICT化備品関係

登降園管理用タブレット2台を更新した。また、業務用ノートパソコンを2台購入した。

4 安全対策及び事故防止

(1) 日常の安全管理

ア 保育環境の安全確保のため、「環境整備・遊具点検チェック表」により施設、遊具、玩具、用具、園庭を毎月点検し、安全性の確保や機能の保持に取り組んだ。

イ 乳児の睡眠中の安全を確保するため、仰向けに寝かせるなど窒息や乳幼児突然死症候群(SIDS)等への配慮を行うとともに、顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察した。

(2) 危機管理

ア 消防計画に基づき、「盛岡市シェイクアウト」への参加を含め、毎月、避難訓練を実施した。

また、盛岡西消防署立ち合いのもと、消防総合訓練を年2回(6月と10月)実施した。

イ 盛岡西警察署に協力を依頼し、防犯教室及び不審者対応訓練を12月に実施した。

(3) 事故防止

ア ヒヤリハット・事故報告事案は78件であった。このうち、ケガによる通院受診は6件であった。(ケガの内容:左上前歯の欠損、右示指打撲、顔面打撲、咽頭炎症、肘内障疑い)

イ 職員会議において、ヒヤリハット事例や事故報告書をもとに検証し、再発防止に努めた。

5 感染症等対策の状況

(1) インフルエンザについて

令和7年11月13日、園児1名がインフルエンザA型を発症、11月17日には発症者が一定数を超えたことから盛岡市保健所に報告した。11月28日以降新たな発症者はなく、12月1日で収束した。

(2) コロナウイルス等感染症について

ア コロナウイルス感染症に園児2名、職員6名が罹患したが、入院等の重症者はいなかった。

イ 感染性胃腸炎等の集団発生はなかった。手洗いやうがい、消毒など基本的な感染対策は継続した。

6 給食事業の状況

給食は、「食育」(食を営む力の育成)の一環として重要な位置づけとなっていることから、保護者に献立を配布するとともに、喫食状況や体調の変化なども随時報告して保育室と厨房の情報共有

に努めた。

また、給食衛生管理マニュアルに沿って厨房の衛生管理を徹底するとともに、衛生環境改善のため、電解水を活用するなど食中毒の防止に取り組んだ。

(1) 手づくりの和食

安心・安全な食材を確保し、和食を中心とした季節の材料を取り入れ、食育の日（毎月 19 日）には郷土料理等を提供した。また、昆布・いりこ・かつお節で出汁を取り、薄味にして冷凍食品や加工食品をできるだけ使用せずに手づくりに努めた。

また、4 月 10 日（法人創立記念日）、7 月 29 日（肉の日）、10 月 2 日（豆腐の日）、12 月 22 日（冬至）には、法人 4 施設の「統一献立の日」とされ、地場産品を取り入れた同一メニューを提供した。

(2) 給食種別

物価高騰等により食材の確保に困難なこともあったが、給食の安定的な提供に努めた。また、季節の行事やイベントなどに合わせた行事食や子どものリクエストメニューなども提供した。提供した給食の種別は、離乳食が 2,708 食（前年度比 642 食増）、1・2 歳児食が 10,536 食（前年度比 232 食減）、3 歳児以上食が 15,482 食（前年度比 151 食減）、計 28,726 食（前年度比 259 食増）であった。（卵や乳、魚などを除く除去食 482 食を含む。）

(3) おやつ給食

おやつはできるだけ手づくりとし、午前は乳児に午後は全児童に提供した。

(4) 副食費の徴収

3 歳以上児の副食費（月 5,200 円）については、100%の徴収率であった。

7 職員の資質向上

(1) 研修

保育所の役割や機能が多様化、拡大しているなか、一人ひとりの職員の専門性の向上を図るため、各種研修会を企画するとともに、園外の研修会にも参加した。また、岩手県保育研究大会盛岡大会の発表テーマについて、職員が役割を分担して調査・研究に取り組んだ。

- ア 園内研修：21 回実施（テーマ：園内研修の進め方、保育園で行う点呼、人権擁護のセルフチェック、救急救命法の習得（乳幼児の誤飲時の対応、AED の使い方）、リズム運動、護身術
- イ 園外研修：対面による研修参加（28 研修、参加延べ 38 名）、オンラインによる研修（参加延べ 11 名）

ウ 法人交流研修

青山保育園、くろいしの保育園に保育士各 2 名が参加し、交流研修を行った。

(2) 自己評価

保育士自己評価及びクラス別自己評価を行うとともに、自己評価委員会において保育園自己評価を行い、令和 8 年度の保育指導計画等に反映させた。

8 苦情解決処理

令和 7 年度における意見・要望・苦情等は 3 件（保育内容や保育者の対応に関するもの：3 件）寄せられたが、「福祉サービスに係る苦情解決事業実施要綱」に基づく苦情解決（第三者委員の立合い等）の希望はなかった。意見・要望等には丁寧に対応して改善等に努めるとともに、法人のホームページで公表した。

9 みたけ保育園行事報告

月別	保 育 園	地域子育て支援センター
定例	職員会議(毎週木曜日)、環境安全点検、クラス打合せ、園内職員研修、避難訓練、誕生会、身長・体重測定、園・クラスだより発行、保健だより・給食だより発行、発達支援児巡回指導(年4回)	市内支援センター連絡会議(隔月)、園開放(毎週月～金の8:30～12:00、14:30～16:00、遊びや交流の場)、身長・体重測定
随時	保育実習及び看護実習の受入れ	子育て相談(電話又は来園)
4月	入園・進級おめでとう会(1) 内科健診(23)、保育参観(3～5歳児)(26)	身体測定、こいのぼりづくり(11.15.22) お話し会(18)、誕生会(24)
5月	お話の会(21)、3Dスポーツ(22)	園庭遊び(9.13.20)、お話し会(16)、誕生会(26) 離乳食講座(28)、遊びの会(29)
6月	眼科健診(10)、歯科健診(12)、親子レク(13) 3Dスポーツ(19)、耳鼻科健診(25) 交通安全協定(30)	七夕づくり(10.16.18)、お話し会(20)、 遊びの会(26)、リズム遊び(29)、誕生会(30)
7月	夏祭り会(11)、プール学習(15)	身体測定、健康相談(9.15.22)、遊びの会(10) お話し会(18)、誕生会(28)、感触遊び(30)
8月	プール学習(5)、ダブルダッチ体験会(19) いのちのお話の会(20)、お話の会(21) ひまわり交流(26)	小麦粉の粘土遊び(8.19.21)、お話し会(22) 誕生会(25)、感触遊び(27)
9月	英語教室(3)、ゴミとリサイクル教室(8) 3Dスポーツ(9)	ベビーダンス(11)、サーキット遊び(12.17) お話し会(19)、遊びの会(26)、誕生会(29)
10月	運動会(10)、英語教室(15)、やきいも会(17) お話の会(21)、内科健診(22)、3Dスポーツ(23) こどもあんぜん教室(28)	身体測定、ハロウィンごっこ(15.21.27) お話し会(17)、遊びの会(30)、誕生会(31)
11月	保育参加(0～2歳児)(5)、英語教室(12)	お話し会(7)、サーキット遊び(10.11.17) 誕生会(19)、遊びの会(21)
12月	お楽しみ会(5)、英語教室(10)、防犯教室(16) サンタクロースイベント(17)、お話の会(18) 3Dスポーツ(23)、クリスマス会(25)	クリスマス飾りづくり(10.11.17) 給食体験会(17)、お話し会(19)、誕生会(22)
1月	みずき団子づくり(9)、お話の会(14) 英語教室(21)、お茶会(23)	身体測定、鬼の面づくり(9.13.20) お話し会(16)、誕生会(27) リズム遊び(29)
2月	交通安全教室(1)、節分豆まき(3)、英語教室(4) レストランごっこ(12)、3Dスポーツ(19)	ひな人形づくり(6.10.12)、リズム遊び(13) お話し会(20)、誕生会(24)
3月	ひな祭り会(3)、英語教室(11)、卒園式(14) お話の会(17)、入園説明会(18) 1年生おめでとう会(19)	サーキット遊び(6.12.16)、誕生会(18) 離乳食講座(25)、お話し会(27)

10 みたけ保育園地域子育て支援センター事業実績報告

【事業の趣旨】

子育ての不安や悩みの相談、親子での遊び、親同士の交流ができる場として保育園を開放するなど、地域の子育て家庭に対する育児支援を行うことを目的とする。

【事業内容】

1 相談事業

目 的：乳幼児期の子育てについての不安を解消するために、電話又は来所による相談を行う。

日 時：毎週月曜日から金曜日（年末年始・祝日を除く）9時から16時（消毒のため15時30分）

相談員：園長、主任保育士、保育士、看護師、栄養士

2 広場事業

(1) 施設開放

目 的：親子で一緒に遊んだり、園児と遊んだり、親が育児について話し合い、親子が交流できる場を提供する。

日 時：毎週月曜日から金曜日（年末年始・祝日を除く）

8 時 30 分から 12 時、14 時 30 分から 16 時（感染防止対策の消毒のため 15 時 30 分）

会 場：みたけ保育園支援室・園庭

対 象：0 歳から概ね 3 歳までの子どもとその保護者及びその祖父母

(2) ぽっぽルーム

目 的：親子の交流や仲間づくり、遊びの提供や育児相談、月 1 回身体測定をし、看護師との健康相談につなげる。

日 時：月 2 回程度（不定期）

会 場：みたけ保育園支援室・園庭

対 象：0 歳から概ね 3 歳までの子どもとその保護者及びその祖父母

(3) にこにこ赤ちゃん

目 的：親子の交流や仲間づくり、遊びの提供や育児相談を行う。

日 時：月 1 回（第 2 金曜日）、10 時から 11 時

会 場：みたけ保育園支援室・相談室

対 象：0 歳児とその保護者及びその祖父母、妊婦

(4) にこにこ 1 歳

目 的：親子の交流や仲間づくり、遊びの提供や育児相談を行う。

日 時：月 1 回（第 3 水曜日）、10 時から 11 時

会 場：みたけ保育園支援室・他

対 象：1 歳児とその保護者及びその祖父母

(5) にこにこ 2 歳

目 的：親子の交流や仲間づくり、遊びの提供や育児相談を行う。

日 時：月 1 回（第 3 金曜日）、10 時から 11 時 30 分

会 場：みたけ保育園支援室

対 象：2 歳から就園する前までの子どもとその保護者及びその祖父母

(6) あそびの会（出張遊び）

目 的：親子の交流や仲間づくり、遊びの提供や育児相談を行う。

日 時：月 1 回（第 2 火曜日）、10 時から 11 時 30 分

会 場：月が丘児童センター

対 象：1 歳から概ね 3 歳までの子どもとその保護者及びその祖父母

3 学び事業

◎ 子育て講座

目 的：食事や病気について、手作りおもちゃや遊びの指導など。

日 時：月 2 回程度（不定期）

会 場：みたけ保育園支援室・相談室

対 象：0 歳から概ね 3 歳までの子どもとその保護者及びその祖父母

〈内 容〉

月	テ ー マ	会 場	内 容
4 月	手づくり（こいのぼり）	支援室	身近にある材料で季節の飾りを作る。
5 月	散歩、園庭遊び	園 庭	遊びの提供と親同士の交流を図る。
	離乳食講座		離乳食についての講座
6 月	手づくり（七夕飾り）	支援室	身近にある素材で季節のものを作る。
7 月	夏の健康講座	支援室	看護師による健康相談
8 月	絵の具遊び	支援室	絵の具を使って感触遊びを楽しむ。
	感触遊び		片栗粉と水の感触を楽しむ。
9 月	サーキット遊び	ホール	身体を動かす遊びを楽しむ。
	ベビーダンス	支援室	ベビーダンスをしてリフレッシュする。
10 月	ハロウィンごっこ	支援室	季節の行事を楽しむ。
11 月	サーキット遊び	支援室	身体を動かす遊びを楽しむ。
12 月	手づくり（クリスマスブーツ）	支援室	身近にある材料で季節の飾りを作る。
1 月	手づくり（鬼のお面）	支援室	身近にある材料で季節のものを作る。
2 月	手づくり（ひな人形）	支援室	身近にある材料で季節のものを作る。
3 月	サーキット遊び	支援室	身体を動かす遊びを楽しむ。

4 広報事業

◎ ぽっぱ通信

発行日：毎月 1 回

配 布：地域の関係機関等

内 容：子育てに関する情報・毎月の活動予定等

5 体験事業

(1) 給食体験会

目 的：親子で交流しながら食事を楽しみ、試食を通して幼児食の実際を体験する。

また、園児と一緒に食べることで保育園の様子が紹介できる。

日 時：年 1 回

会 場：支援室

対 象：0 歳から概ね 3 歳までの子どもとその保護者及びその祖父母

(2) リズムあそび

目 的：園児と交流しながら、親子一緒にリズム運動を楽しむ。

日 時：月 1 回 10 時から 10 時 30 分

会 場：支援室

対 象：1 歳から概ね 3 歳までの子どもとその保護者及びその祖父母

内 容：ピアノの音に合わせて体を動かす。

【実施状況】

1 子育て相談

(1) 相談状況

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	5	5	3	4	2	6	3	0	2	1	0	3	34

(2) 相談内容

基本的生活習慣 (13件)	食事	10件	発育・発達 (8件)	ほふく・歩行	0件
	(授乳)	(0件)		身体発達	0件
	(離乳・離乳食)	(7件)		言語	2件
	(食事)	(3件)		社会性	5件
	睡眠	1件		性格	0件
	排泄・他	2件		くせ	1件
生活環境 (1件)	家庭	1件	育児方法 (2件)	健康管理	1件
	近隣・地域	0件		しつけ・教育の仕方	1件
病 気		2件	その他 (8件)	育児に関係あり	2件
				保育所入所	1件
				その他	5件
				全体	34件

2 広場事業

(1) 施設開放

① 参加状況

(単位：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
親	94	88	112	125	92	136	137	91	87	77	86	99	1,224
子	102	102	120	145	102	150	163	118	98	84	95	113	1,392
計	196	190	232	270	194	286	300	209	185	161	181	212	2,616

② 参加の様子

- ・利用者の多くは1歳児で、それぞれの生活リズムに合わせて来所し、親子で遊びや交流を楽しんでいた。
- ・お友だちの遊びに興味をもって一緒に遊ぶ様子や、親同士で子育てなどの情報交換をしている姿が見られた。
- ・園庭の遊具で遊んだり、園児と一緒に走ったりしながら遊びを楽しんでいた。

(2) ぽっぽルーム

① 参加状況

(単位：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
親	0	2	0	1	6	2	7	6	3	5	0	2	34
子	0	2	0	2	7	2	8	6	4	5	0	2	38
計	0	4	0	3	13	4	15	12	7	10	0	4	72

② 参加の様子

- ・誕生会では、インタビューに嬉しそうに答える様子や、パネルシアターに興味を持ちながら参加している姿が見られた。

- ・身長・体重測定では、大きくなった子どもの成長を確認していた。

(3) にこにこ赤ちゃん

① 参加状況

(単位：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
親	5	3	11	10	5	6	10	6	3	3	2	1	65
子	5	3	11	11	5	6	10	6	3	3	2	1	66
計	10	6	22	21	10	12	20	12	6	6	4	2	131

② 参加の様子

- ・親同士で会話し、子育ての情報交換をしていた。また、看護師や保育士に身体についての悩みを相談していく姿があった。

(4) にこにこ1歳

① 参加状況

(単位：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
親	2	2	5	8	3	7	5	3	5	3	9	4	56
子	2	2	5	9	3	7	5	3	5	3	9	4	57
計	4	4	10	17	6	14	10	6	10	6	18	8	113

② 参加の様子

- ・親子で季節の飾りを作り、完成すると嬉しそうにしていた。
- ・企画を重ねるごとに利用者が顔馴染みになり、楽しんで交流していた。
- ・ふれあい遊びでは、回数を重ねるごとに動き方を覚え、喜んで体を動かしていた。

(5) にこにこ2歳

① 参加状況

(単位：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
親	5	5	2	2	3	2	3	2	3	1	2	4	34
子	5	6	2	2	5	2	4	3	3	1	2	4	39
計	10	11	4	4	8	4	7	5	6	2	4	8	73

② 参加の様子

- ・制作では、描いたり、貼ったりすることに興味をもって積極的に取り組み、完成するとお友達と見せ合っていた。
- ・ふれあい遊びでは、保育者の真似をして親子で体を動かし喜んでいる様子が見られた。

(6) 遊びの会

① 参加状況

(単位：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
親	-	5	6	2	-	5	4	4	-	-	-	-	26
子	-	5	6	2	-	5	5	4	-	-	-	-	27
計	-	10	12	4	-	10	9	8	-	-	-	-	53

② 参加の様子

- ・天気の良い日は、向かいの公園を利用し、散歩して親子で楽しんだ。
- ・集会室で季節の飾りづくりや、遊戯室で体を動かす遊びをして喜んでいる姿が見られた。

3 学び事業

◎ 子育て講演会

① 参加状況

(単位：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
親	2	4	5	7	7	6	3	1	4	4	6	7	56
子	2	5	5	9	7	6	3	1	4	3	6	7	58
計	4	9	10	16	14	12	6	2	8	7	12	14	114

② 参加の様子

- ・「お話し会」では、親子で一緒に触れ合いながらわらべ歌を楽しんでいた。
- ・「絵の具感触遊び」は、絵の具の感触を味わい、伸び伸びと紙に表現している姿が見られた。

4 広報事業（ぽっぽ通信）

毎月1回、子育てに関する情報や毎月の活動予定等を記載した情報紙を発行し、地域の関係機関等に配布した。

5 体験事業

(1) 給食体験会

① 参加状況とメニュー

12月17日（水）	親子 3組 (7人)	(12月のメニューから) ご飯、松風焼、きんぴらごぼう、ビーフンサラダ、キャベツともやし のみそ汁、みかん
-----------	---------------	---

② 参加者の感想

- ・子どもの量や味つけを知ることができてよかった。
- ・同じぐらいの年齢の子どもたちと一緒に食べることができてよかった。
- ・薄味で出汁がきいてどのメニューもおいしかった。

(2) リズムあそび

① 参加状況

(単位：名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
親	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	3	-	7
子	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	3	-	7
計	-	-	4	-	-	-	-	-	-	4	6	-	14

② 参加の様子

- ・6月は3歳児クラスと一緒にリズム遊びをし、動きを真似しながらリズムに合わせて体を動かし、楽しむことができた。
- ・1、2月は、慣れている支援室で行ったため、初めて参加する子どもたちが伸び伸びと体を動かして嬉しそうにしていた。

＜子育てアンケート＞

目 的：支援センターを利用する子育て家庭の現状を把握し、今後の支援活動の参考にするため。

実施日：令和7年6月

対 象：支援センター利用者（親子31組）

【調査結果】

＜子育ての悩みについて＞

回答人数 24 人（複数回答）

◎ 子育てで困っていることがありますか

- | | |
|--------------------------------|------|
| ① 自分だけの時間がとれない | 13 人 |
| ② 自分の子育てに自信がない | 5 人 |
| ③ 子どもと一緒に遊びに行ける場所がない | 6 人 |
| ④ 同世代のお母さんと話す場がない | 9 人 |
| ⑤ 子どもへの関わり方や発達について不安がある | 4 人 |
| ⑥ 家族と子育ての考え方が違い、協力的でない | 1 人 |
| ⑦ 食事やトイレのことなど年齢に応じた関わり方の情報がない | 8 人 |
| ⑧ 悩みを聞いてくれたり、相談にのってくれたりする人がいない | 1 人 |
| ⑨ 困っていることは特にない | 2 人 |

◎ 上記の項目において、支援センターを利用する中で解消できたことがありましたか？

番号を記入してください。

②－1 人 ③－9 人 ④－10 人 ⑤－1 人 ⑦－4 人 ⑧－3 人

◎ 支援センターに来る目的は何ですか？

- ・子ども同士で遊ばせるため 8 人 ・広い場所で遊べる 6 人 ・親同士の交流 7 人
- ・イベントではできない経験ができる 2 人 ・リフレッシュになるため 1 人
- ・天気が悪いときの遊び場になる 1 人

◎ 支援センターを利用して良かったことは何ですか？

- ・親同士の交流ができた 7 人 ・他のお友だちと遊ぶことができた 5 人
- ・様々な遊具で遊べる 3 人 ・いつもと違う遊びができる 3 人 ・リフレッシュができた 2 人
- ・悩みを相談できた 1 人 ・広い場所で遊べる 1 人 ・ずりばい、ハイハイの練習ができる 1 人
- ・砂場遊びなど安心して遊べる 1 人

◎ 支援センター利用の際、困ったことは何ですか。

- ・風邪、感染症をもらおうと利用できなくなる
- ・友だちとのケンカのときの対応の仕方が分からない
- ・幼稚園に入園してしまうと、午後からの利用になってしまう

◎ 支援センターに行ってほしい企画はなんですか？

- ・リズム遊び 2 人
- ・子育て講座、歌、読み聞かせ

- ・収穫体験
- ・粘土遊び
- ・おもちゃづくり
- ・水遊び
- ・お友だちと給食やおやつを食べる

◎ 支援センターへのご意見がありますか？

- ・いつも楽しく遊ばせてもらいありがとうございます。 4人
- ・周りに知り合いがないので、親子でよい息抜きになります
- ・家の近くに支援センターがあってよかった
- ・これからも利用したい
- ・施設がきれいで嬉しい
- ・早い時間から開いているので嬉しい
- ・パズルなど時々おもちゃの入れ替えがあるといい。

【アンケートのまとめ】

- ・アンケートでいただいた意見等については、改善、見直しに努めていく。
- ・多くの利用者が同じような悩みを抱えていることが分かり、それを踏まえて支援していかなければならないと思った。
- ・アンケートを実施した後も利用者の声に耳を傾け、居心地がよく、安心できる場所になるようにしていきたい。

11 令和7年度入所児童数統計

(1) 入所児童数の状況

(单位:名)

月 年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和6年度
0歳児	12	14	16	17	17	18	18	18	18	19	21	21	209	195
1歳児	18	18	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	225	216
2歳児	19	19	19	19	19	19	19	19	20	19	19	19	229	268
3歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288	252
4歳児	22	22	23	23	23	23	22	22	22	21	21	21	265	296
5歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288	283
計	119	121	124	126	126	127	126	126	127	126	128	128	1,504	1,510

盛岡市 1,336名 滝沢市 168名

(2) 延長保育事業児童数の状況

(单位:名)

月 時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和 6年度
1時間	14	14	11	18	13	22	14	13	22	16	15	23	195	307
2時間	4	4	5	2	1	1	4	4	5	8	6	5	49	48
計	18	18	16	20	14	23	18	17	27	24	21	28	244	355

(3) 体調不良児対応型病児保育事業利用児童数等の状況

(单位:名·件)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和 6年度
児童数	10	17	13	21	19	18	20	30	15	10	26	19	218	155
相談件数	2	2	3	6	2	1	1	5	0	0	1	2	25	20

(4) 副食費徴収児童数の状況

(单位:名·件·%)

[illegible]

(5) 年齢別委託費の状況

(単位:円)

	標準	短時間
0 歳 児	237, 200	232, 310
1 歳 児	161, 630	156, 730
2 歳 児	142, 920	138, 020
3 歳 児	77, 590	72, 660
4 歳児以上	59, 060	54, 160

※月額委託費は、令和8年2月1日現在

(6) 職員数の状況

(単位:名)

職 種	人数	職種	人数
園長	1	臨時保育士	15
主任保育士	1	臨時栄養士	1
主幹兼看護師	1	臨時調理員	1
副主任保育士	1	時間給保育士	2
保育士	6	時間給調理員	3
調理員	1	時間給園務員	1
事務員	1		
		小計	23
小計	12	合計	35

※令和7年3月31日現在

(7) 健康診断実施状況

(単位:名)

区 分	実施年月日	担当医	受診者数
内 科	4月23日 10月22日	鈴木 一彦	118 125
歯 科	6日12日	波紫 修一	122
眼 科	6日10日	村田 正敏	122
耳鼻科	6日25日	小田島葉子	124

事業報告の附属明細書

令和7年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

社会福祉法人岩手県同胞援護会

法人単位資金収支計算書

（自） 令和7年4月1日 （至） 令和8年3月31日

（単位：円）

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入	保育事業収入	568,760,000	567,361,040	1,398,960	
		■■■■■事業収入	93,021,000	93,064,149	-43,149	
		経常経費寄附金収入	190,000	190,306	-306	
		受取利息配当金収入	291,000	337,199	-46,199	
		その他の収入	7,497,000	7,534,631	-37,631	
		事業活動収入計（１）	669,759,000	668,487,325	1,271,675	
	支出	人件費支出	530,117,000	529,107,157	1,009,843	
		事業費支出	57,261,000	55,134,719	2,126,281	
		事務費支出	36,564,000	35,288,163	1,275,837	
		支払利息支出	485,000	483,121	1,879	
		その他の支出	7,233,000	7,151,390	81,610	
		事業活動支出計（２）	631,660,000	627,164,550	4,495,450	
	事業活動資金収支差額（３）＝（１）－（２）		38,099,000	41,322,775	-3,223,775	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入		0	0	
		施設整備等収入計（４）	0	0	0	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	17,520,000	17,520,000	0	
		固定資産取得支出	4,712,000	4,702,600	9,400	
		ファイナンス・リース債務の返済支出	2,526,000	2,525,160	840	
		施設整備等支出計（５）	24,758,000	24,747,760	10,240	
	施設整備等資金収支差額（６）＝（４）－（５）		-24,758,000	-24,747,760	-10,240	
他の活動による収支	収入	投資有価証券売却収入		0	0	
		積立資産取崩収入	15,076,000	15,076,294	-294	
		その他の活動収入計（７）	15,076,000	15,076,294	-294	
	支出	積立資産支出	18,179,000	18,177,776	1,224	
		その他の活動支出計（８）	18,179,000	18,177,776	1,224	
	その他の活動資金収支差額（９）＝（７）－（８）		-3,103,000	-3,101,482	-1,518	
予備費支出（１０）		2,200,000		2,144,000		
		-56,000				
当期資金収支差額合計（１１）＝（３）＋（６）＋（９）－（１０）		8,094,000	13,473,533	-5,379,533		
前期末支払資金残高（１２）		163,970,576	162,373,292	1,597,284		
当期末支払資金残高（１１）＋（１２）		172,064,576	175,846,825	-3,782,249		

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）
法人単位事業活動計算書

（自）令和7年4月1日 （至）令和8年3月31日

(単位：円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	保育事業収益	567,361,040	548,331,556	19,029,484
		■■■■■事業収益	93,064,149	82,315,603	10,748,546
		経常経費寄附金収益	190,306	50,000	140,306
		サービス活動収益計（１）	660,615,495	630,697,159	29,918,336
	費用	人件費	532,378,639	503,308,397	29,070,242
		事業費	55,134,719	54,428,707	706,012
		事務費	35,288,163	42,831,438	-7,543,275
		減価償却費	52,601,102	53,230,152	-629,050
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-32,502,027	-33,502,806	1,000,779
		その他の費用	0	0	0
	サービス活動費用計（２）		642,900,596	620,295,888	22,604,708
サービス活動増減差額（３）＝（１）－（２）		17,714,899	10,401,271	7,313,628	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	389,701	88,809	300,892
		その他のサービス活動外収益	7,482,129	9,929,326	-2,447,197
		サービス活動外収益計（４）	7,871,830	10,018,135	-2,146,305
	費用	支払利息	483,121	572,005	-88,884
		その他のサービス活動外費用	7,151,390	7,099,860	51,530
		サービス活動外費用計（５）	7,634,511	7,671,865	-37,354
	サービス活動外増減差額（６）＝（４）－（５）		237,319	2,346,270	-2,108,951
経常増減差額（７）＝（３）＋（６）		17,952,218	12,747,541	5,204,677	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	7,458,000	-7,458,000
		特別収益計（８）	0	7,458,000	-7,458,000
	費用	固定資産売却損・処分損	0	871,008	-871,008
		国庫補助金等特別積立金積立額	0	7,458,000	-7,458,000
		特別費用計（９）	0	8,329,008	-8,329,008
	特別増減差額（１０）＝（８）－（９）		0	-871,008	871,008
当期活動増減差額（１１）＝（７）＋（１０）		17,952,218	11,876,533	6,075,685	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額（１２）		180,106,477	180,762,944	-656,467
	当期末繰越活動増減差額（１３）＝（１１）＋（１２）		198,058,695	192,639,477	5,419,218
	基本金取崩額（１４）		0	0	0
	その他の積立金取崩額（１５）		14,494,000	9,867,000	4,627,000
	その他の積立金積立額（１６）		14,000,000	22,400,000	-8,400,000
	次期繰越活動増減差額（１７）＝（１３）＋（１４）＋（１５）－（１６）		198,552,695	180,106,477	18,446,218

法人単位貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	192,147,510	177,505,258	14,642,252	流動負債	54,158,445	54,792,126	-633,681
現金預金	152,848,453	126,330,320	26,518,133	事業未払金	14,813,940	14,492,584	321,356
事業未収金	24,831,330	36,911,791	-12,080,461	1年以内返済予定設備資金借入金	17,520,000	17,520,000	0
未収補助金	14,390,080	14,185,500	204,580	1年以内返済予定リース債務	1,046,760	2,525,160	-1,478,400
前払費用	77,647	77,647	0	預り金	289,544	242,011	47,533
				職員預り金	1,197,201	397,371	799,830
				賞与引当金	19,291,000	19,615,000	-324,000
固定資産	618,463,898	663,553,430	-45,089,532	固定負債	147,314,224	162,578,014	-15,263,790
基本財産	503,775,579	549,101,562	-45,325,983	設備資金借入金	108,122,000	125,642,000	-17,520,000
土地	18,000,000	18,000,000	0	リース債務	2,616,900	3,663,660	-1,046,760
建物	485,775,579	531,101,562	-45,325,983	退職給付引当金	36,575,324	33,272,354	3,302,970
その他の固定資産	114,688,319	114,451,868	236,451	負債の部合計	201,472,669	217,370,140	-15,897,471
建物	2	2	0	純資産の部			
構築物	6,390,935	8,830,340	-2,439,405	基本金	12,437,864	12,437,864	0
器具及び備品	6,981,153	4,535,427	2,445,726	国庫補助金等特別積立金	337,107,222	369,609,249	-32,502,027
有形リース資産	3,663,660	6,188,820	-2,525,160	その他の積立金	61,040,958	61,534,958	-494,000
ソフトウェア	35,787	89,467	-53,680	人件費積立金	9,477,000	15,561,000	-6,084,000
投資有価証券	500	500	0	施設整備等積立金	28,054,958	24,054,958	4,000,000
■■■■繰越特定資産	14,245,000	11,245,000	3,000,000	保育所施設・設備整備積立金	23,509,000	21,919,000	1,590,000
施設整備等積立資産	16,809,958	16,809,958	0	次期繰越活動増減差額	198,552,695	180,106,477	18,446,218
保育所繰越積立資産	6,477,000	11,561,000	-5,084,000	(うち当期活動増減差額)	17,952,218	11,876,533	6,075,685
保育所施設設備整備積立資産	23,509,000	21,919,000	1,590,000				
退職給付引当資産	36,575,324	33,272,354	3,302,970	純資産の部合計	609,138,739	623,688,548	-14,549,809
資産の部合計	810,611,408	841,058,688	-30,447,280	負債及び純資産の部合計	810,611,408	841,058,688	-30,447,280

計算書類に対する注記(法人全体用)

1. 継続事業の前提に関する注記

- ・該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券等一償却原価法(定額法)
- ・満期保有目的の債券以外の有価証券
 1. 時価のあるもの一末日の市場価格等に基づく時価法
 2. 時価のないもの一移動平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。

・リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

- ・賞与引当金の計上額は、支給対象期間に基づき当期に属する部分を計上している。
- ・退職給付引当金の計上額は、岩手県社会福祉協議会の実施する退職共済制度に加入している職員に係る掛金納付額のうち法人の負担額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

- ・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 重要な会計方針の変更

- ・該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

- ・独立行政法人福祉医療機構の実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度
- ・岩手県社会福祉協議会の実施する民間社会福祉事業職員共済制度

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の計算書類(会計基準省令第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式)
- (2) 事業区分別内訳表(会計基準省令第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式)
当法人では、事業区分が社会福祉事業のみのため作成を省略している。
- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
- (4) 公益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
当法人では、公益事業を実施していないため作成を省略している。
- (5) 収益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
当法人では、収益事業を実施していないため作成を省略している。
- (6) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア 法人本部拠点(社会福祉事業) 「法人本部」 イ ■■■■拠点(社会福祉事業) 「■■■■」 ウ 青山保育園拠点(社会福祉事業) 「青山保育園」	エ くろいしの保育園拠点(社会福祉事業) 「くろいしの保育園」 オ みたけ保育園拠点(社会福祉事業) 「みたけ保育園」
--	--

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	18,000,000			18,000,000
建物	531,101,562		45,325,983	485,775,579
合計	549,101,562		45,325,983	503,775,579

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

- ・該当なし

8. 担保に供している資産

青山保育園拠点区分

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物(基本財産) 130,715,799円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む) 6,489,000 円

くろいしの保育園拠点区分

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物(基本財産) 95,952,486円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む) 18,360,000 円

みたけ保育園拠点区分

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物(基本財産) 178,050,280円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む) 100,793,000 円

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地(基本財産)	18,000,000		18,000,000
建物(基本財産)	1,168,990,927	683,215,348	485,775,579
建物	1,468,000	1,467,998	2
構築物	52,728,171	46,337,236	6,390,935
器具及び備品	47,119,590	40,138,437	6,981,153
有形リース資産	19,020,060	15,356,400	3,663,660
合計	1,307,326,748	786,515,419	520,811,329

10. 債権の債権金額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	24,831,330		24,831,330
未収補助金	14,390,080		14,390,080
合計	39,221,410		39,221,410

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

・該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

・該当なし

13. 重要な偶発債務

・該当なし

14. 重要な後発事象

・該当なし

15. 合併又は事業の譲渡若しくは譲受けが行われた場合には、その旨及び概要

・該当なし

16. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

・該当なし